

日本スキー学会 2018 年度秋季大会

開催日時：2018年9月8日（土） 13:00～17:00（12:30～受付）

開催会場：日本福祉大学東海キャンパス S307、S308 教室

〒477-0031 愛知県東海市大田町川南新田 229 番地

TEL：0562-39-3811(代表)

東海キャンパスへの交通アクセス：



<http://www.n-fukushi.ac.jp/campus/tokai/acsess.html>

主催：日本スキー学会 <http://www.js3.jp/>

◇ 研究講演（7件）

◇ 参加費（講演論文集代含）：1,000円（当日徴収いたします）

◇ 懇親会

9月8日（土）17:00～19:00

会費：4,000円

会場：「炭火焼イタリアン酒場 オーマイフィッシュ」（太田川駅そば）

愛知県東海市大田町下浜田 137 ユウナル東海 205 区画

<https://www.hotpepper.jp/strJ001143523/>

◇ 研究発表について

(1) ○印が発表者です。

(2) 発表時間は12分、質疑応答3分の計15分です。（1鈴10分、2鈴12分、3鈴15分）

(3) 発表に使用するパソコンは事務局でも準備いたしますが、基本的には各自でお願いいたします。

日本スキー学会 2018年度秋季大会 プログラム

◎講演時間 12分+質疑応答 3分 計 15分

◆ 13:00 ~ 13:10 開会式

◆ 【第1セッション 13:15~14:15】 座長：多田 憲孝（大阪国際大学）

(1) 【13:15~13:30】 アルペンスキー競技における技術要因の検討に関する一考察
ーワールドカップスラロームにおける完走率からー

○ 吉川 昌則（青森大学）

(2) 【13:30~13:45】 低速度におけるショートターン指導プログラムについて
ー指導現場からの実践報告および提案ー

8

○ 伴 好彦（武蔵野短期大学）

(3) 【13:45~14:00】 スノーボードの競技力向上におけるターンの指導法の開発；
ヒールサイドターンの完成度の影響について

10

○ 佐々木耕司（早稲田大学スポーツ科学研究センター），岡田純一（早稲田大学スポーツ科学学術院），
土屋純（早稲田大学スポーツ科学学術院）

14

(4) 【14:00~14:15】 実滑走情報に基づくスキー・ターンの加速度の成分解析に関する研究

○ 廣瀬圭（テック技販・信州大学） 近藤亜希子 千葉 遥（テック技販）

◆ 14:15 ~ 14:30 休憩（フリーディスカッション）

◆ 【第2セッション 14:30~15:15】 座長：布目 靖則（中央大学）

16

(5) 【14:30~14:45】 戦前・戦中におけるスキー表象について
アサヒ・スポーツの記事を手がかりに

○ 神田 俊平（日本体育大学）

(6) 【14:45~15:00】 昭和13年の甲子園・後樂園でのスキー大会・講習会実施について

18

○ 新井 博（日本福祉大学）

(7) 【15:00~15:15】 パラリンピックにおけるスキー競技の変遷

21

○ 安藤佳代子 山根真紀 新井 博（日本福祉大学スポーツ科学部）

◆ 15:15~15:30 休憩（フリーディスカッション）

◆ 15：30～16：30 「教育講演」

「スキー・スノーボード事故を含む、スポーツ傷害等の実態について」

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授 内田 良先生

【プロフィール】

名古屋大学大学院教育発達科学研究科・准教授。博士（教育学）。

専門は教育社会学。学校のなかで子どもや教師が出遭うさまざまなリスクについて、調査研究ならびに啓発活動をおこなっている。

著書に『ブラック部活動』（東洋館出版社）、『教育という病』（光文社新書）、『柔道事故』（河出書房新社）、『教師のブラック残業』（学陽書房、共編著）など。ヤフーオーサーアワード2015受賞。

◆ 16：30 ～ 表彰式・閉会式

◆ 17：00～ 懇親会